

- 1 日時：令和4年1月22日(土) 16:00～18:00
- 2 場所：ZOOMによるリモート会議
- 3 リモート出席：(常)笠原勉、(常)綿貫啓、(常)庄司大介、(常)永井和典、(常)平野滋、(常)今村均、(常)久一博世、
太田芳雄、星崎紀一、竹内聖一、吉田倫夫、(常)齋藤寛(記録) 委任：(常)桜井裕一
(常任幹事10名中8名出席、幹事4名出席)
- 4 打ち合わせ内容
 - ① 学生への出前授業、リモート講義について
 - ・湘南キャンパス土木工学科で2回(12/22参加68名、1/12参加78名)完全リモートで開催した。学生の顔が見えない状況で研究室からの講義となった。第1日目の質問について第2日目の講義の合間に対応した。
 - ・湘南キャンパス建築学科は1/19にハイブリッドで開催したが、コロナの急拡大で会場参加の学生は1名となった。参加者は99名中37名。建築分野では一級建築士が第一で、あわせて技術士資格にも触れ、資格の重要性を説明。
 - ・土木、建築ともに学生のアンケートでは評判は良好で、先生からも次年度以降の開催も期待されている。就職に向けて資格取得の重要性を伝えることが本会重要な役割である。
 - ・建設部門以外の他学科、他分野への活動拡大は、学科別の対応ではなく学内に技術士資格のセミナー開催のポスターなどを掲示し、興味のある学生を集める方法が良い。学生向けの講演会とセットで告知するなどを考える。
 - ・札幌キャンパスの生物学部の学生には、建設部門の技術士資格の話だけでは難しいので、北海道の磯焼けとコンブ場作りの講演とあわせて開催した。キャンパス内での多くのポスター掲示も効果があった。
 - ② リモート講演会開催計画について
 - ・リモート講演会は、大学窓口より1/14にリマインドメール、土木は先生を通じて学生の参加誘導をお願いした。現状の申込数は実質25人となっている(学生の申込はこれから)。
 - ・12/22に講師とリモートミーティングを実施し、拠点会場から講演予定。2/5事前ミーティング予定。
 - ③ 委員会課題対応状況
 - ・「総会・役員会運営委員会」：役員人事案について継続検討。次回総会会場を高輪キャンパス利用の提案があった。総会時の特別講演は開催日程が決まってから調整する。
 - ・「大学イベント運営委員会」：湘南キャンパスリモート講義の報告。建設部門以外の学生への技術士資格PRイベントの検討。
 - ・「会員イベント運営委員会」：リモート講演会準備。講演講師のリスト化は、講演会のテーマを設定して募集した方がよい。近年注目される講演テーマを検討、役員会で議論する。
 - ・「HP管理委員会」：HPの管理体制、人材確保・体制づくりについて継続協議。
 - ・「会報編集委員会」：会報第6号編集進捗状況の報告。原稿が集まった段階で「査読」を実施。
 - ・「会計委員会」：令和4年度予算案策定検討が必要。来年の方針を固めて予算を策定する。
 - ・「名簿管理委員会」：原簿に更新を年度末で実施、役員共有化。教職員名簿の現状確認が必要。大学窓口のメーリングリストとの整合性確保。
 - ・「情報収集委員会」：学生への第一次試験受験指導は過去問の解説などを中心に。CPD制度の情報収集整理。
 - ④ その他
 - ・建設コンサルタントを目指す学生には技術士資格は必須であることを伝える。
 - ・寄付活動については継続協議とする。
- 5 次回役員会 令和4年2月26日(土) 16:00～ Zoomによるリモート開催。